

平塚協会報

発行所 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 発行責任者 五十嵐 富士夫

全国労働衛生週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 太田 真人

本年も10月1日から7日まで

「職場発！心と体の健康チェック

はじまる 広がる 健康職場」

をスローガンとして全国労働衛生週間が展開されます。本週間は昭和25年に第1回が実施されて以来、本年度で第66回を迎えます。

この間、本週間は国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的な労働衛生管理活動を通じて、労働者の健康確保に大きな役割を果たしてきました。

業務上疾病は長期的には減少傾向にありますますが、昨年来、神奈川県下におきましては、マンホール内で下水管撤去作業中の配管工が硫化水素中毒で死亡したのを始め、化学物質を貯留したホッパー内に立入った労働者が化学物質中毒で死亡した災害などが発生しており、有害物や化学物質による死亡・重大災害は後を絶ちません。

一方、定期健康診断結果から見た労働者の健康状態は、高齢化の一層の進行や生活習慣の変化などを背景に、脳・心臓疾患などのいわゆる「過労死等事案」につながる血中脂質や血圧の異常所見をはじめ、何らかの所見を有する労働者の割合は53.4%で依然として全国平均を上回っており、労働者の過半数が有所見者という状況にあります。

このような状況の下、平成26年の脳・心臓疾患による労災請求件数は62件で、引き続き高止まりの状況にあります。

メンタルヘルスに関しては、神奈川労働局で実施した事業場におけるメンタルヘルス対策に関する自主点検の結果では、メンタルヘルス不調により休業または療養した労働

者がいると回答した事業場の割合は4割を超えており、平成26年の精神疾患による労災請求件数についても122件と、平成22年から年間100件を超える状況が続いています。

また、労働者の健康確保と健康な職場環境の形成を図る観点から、受動喫煙による健康被害の無い職場の実現を図ることも、一層重要な課題になってきています。

このような状況を踏まえて、化学物質に対するリスクアセスメントの実施やストレスチェック制度の創設によるメンタルヘルス対策の充実、事業場の実情に応じた適切な受動喫煙防止対策などを内容とした改正労働安全衛生法が12月から順次施行されます。

また、本年7月に閣議決定された過労死等防止対策推進法による「過労死等の防止のための対策に関する大綱」にもとづき、長時間労働者に対する健康管理措置の徹底や長時間労働削減のための適正な労働時間管理対策などについてもさらに注力していく必要があります。

今年は平成25年から始まった第12次労働災害防止推進計画の中間年であり、神奈川労働局及び平塚労働基準監督署においても中長期的な健康確保・職業性疾病対策として「化学物質管理対策」、「メンタルヘルス対策」、「受動喫煙防止対策」などを重点対策として掲げて、それぞれの目標達成に向けて取り組んでいるところです。

各事業場におかれましても、全国労働衛生週間の準備期間、そして本週間を契機として、職場のトップ、管理監督者、産業保健スタッフ、そして労働者の皆様がそれぞれの立場において、労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生活動の一層の促進を図るようお願いいたします。

平成27年度 労働衛生週間スローガン**職場発！心と体の健康チェック はじまる 広がる 健康職場**

平成27年度 全国労働衛生週間 平塚地区促進大会

平成27年度「第66回全国労働衛生週間平塚地区促進大会」は『職場発！心と体の健康チェック はじまる 広がる 健康職場』のスローガンのもとに、去る9月4日(金)平塚市中央公民館大ホールにおいて開催されました。

大会は、平塚労働基準監督署 太田署長による開会の辞から始まり、平塚市落合市長の祝辞代読へと続き、平塚労働



基準監督署 田代安全衛生課長による衛生週間の趣旨説明が行われました。

その後、第二部として労働災害防止4団体共催の「第59回平塚地区安全衛生大会」が開催され事業場ならびに地区の安全衛生活動の推進に尽力された方々に対して、各団体長より「安全衛生推進優良者」の表彰が行われました。今年は神奈川労務安全衛生協会平塚支部として、17名の方(被表彰者は次頁)が受賞されました。おめでとうございます。

引き続き神奈川労務安全衛生協会平塚支部田中支部長より「大会宣言」が行われ、参加者全員で確認いたしました。

休憩をはさみ、まず特別講演Ⅰとして県立体育センタースポーツ情報班による『めざせ！3033運動で健康寿命日本一!!』の講演が、その後特別講演Ⅱとして『世代と地域をつなぐ総合型地域スポーツクラブの役割』と題して、(株)湘南ベルマーレの大倉智代表取締役社長から湘南ベルマーレの活躍と活動についてご講演をいただきました。

最後に、陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部 平塚分会 八巻分会長の閉会の挨拶により、本大会を終了いたしました。(株)山川機械製作所 五嶋 記

平成27年度 地区会 開催される

支部恒例の地区会が開催されましたので、開催内容について、ご紹介させていただきます。

開催時期：6月19日(金)～7月17日(金)

参加人員：155名／18地区(全地区)

内容：

①地区会長挨拶及び報告事項

- ・第269回理事会報告、他

②支部長ローテーション会社からの連絡

- ・足下の支部活動について、他

③平塚労働基準監督署講話

《太田署長・田代安全衛生課長》

テーマ「平成27年労働基準行政について」

～第12次労働災害防止推進計画、改正安衛法等～

- ・平塚署管内の労働災害発生状況
- ・第12次労働災害防止推進計画の進捗状況
- ・改正労働安全衛生法(抄)

④市役所(町役場)講話

テーマ「ゲートキーパーについて」

⑤平塚保健福祉事務所(秦野センター)講話

テーマ「食べて美味しく健康に～生活習慣病予防と重症化予防のために」

⑥事務局連絡事項

- ・地区会について
- ・平成27年度年間行事について
- ・労働衛生週間促進大会に関するお願いについて

⑦質疑応答・意見交換

今年も多くの皆様のご尽力により、充実した内容で全地区開催することができました。

次年度以降も、多くの皆様の出席をお待ちしています。

コベルコマテリアル銅管 五十嵐 記



施設見学会に参加して

第一三共プロファーマ(株) 平塚工場 今岡 万里子



7月10日に産業保健活動委員会平塚支部の施設見学会に参加しましたのでご紹介させていただきます。

今回は、秦野病院のデイケア施設にお邪魔しました。緑豊かな場所にあり、まずは笠原院長先生よりご挨拶を頂き、精神保健福祉士の二宮氏よりデイケアでの取組みとして、リワークプログラムのポイントや実際の内容・流れについての説明を受け、グループプレゼンや社会生活技能訓練などを通して対人交流技術向上や専門職セミナー、認知行動療法、復職レポート作成等による再発予防に力を入れているのが伺えました。

施設見学ではまだ新しいお洒落な建物のケアセンターを案内して頂き、休職者のリワークだけでなく離職者のプレワーク、発達障害の方のライフスキル向上や企業との橋渡しの存在でもあることを伺い、今後上手活用していけたらと思いました。

参加者もリワークへの関心が高く、見学終了後も質問が尽きませんでした。二宮氏より、グループ単位だが各個人のペースに合わせた対応をされており、まずは一度見学に来て欲しいとの事。

最後に、このたびの見学会にご対応くださいました皆様に厚く御礼を申し上げます。

平成27年度 第59回 平塚地区安全衛生大会 被表彰者名簿

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 支部長表彰 (敬称略)

事業場名	被表彰者名	事業場名	被表彰者名
守山乳業 株式会社	杉山 直樹	株式会社 古河テクノマテリアル	柏木 好和
日産車体 株式会社	大窪 博文	関西ペイント 株式会社 開発センター	鈴野 純
日産車体 株式会社	南雲 勝次	関東光器 株式会社	出縄 伸也
日産車体 株式会社	二見 祐	株式会社 松沢興産	小倉 信興
横浜ゴム 株式会社 平塚製造所	石原 真一	株式会社 ニッパック 秦野事業所	片岡 勇二
東新工業 株式会社	青木 智晃	佐藤産業 株式会社	高橋 純
三興製鋼 株式会社	池田 宗生	株式会社 UEX 伊勢原スチールサービスセンター	平野 利彦
三興製鋼 株式会社	坂下 孝幸	市光工業 株式会社 伊勢原製造所	白鳥 将志
高砂香料工業 株式会社 平塚工場	水野 和文		

『ストレスチェック導入に向けて』講習会開催される

7月30日(木)当支部教室に於いて、昨年に引き続き『ストレスチェック導入に向けて』と題して、47名の受講者のもと講習会が開催されました。

第1部では行政講演として、平塚労働基準監督署田代安全衛生課長より「改正労働安全衛生法について」の説明があり、明るい職場作りのために心の健康づくりとストレスチェック制度の円滑な導入についての説明をして頂きました。

続いて、第2部では特別講演として、東京工科大学産業保健実践研究センター客員教授の飯島美世子氏を講師にお迎えし、『ストレスチェック制度の導入に向けて』について講演が行われました。

講義では、ストレスチェック制度の基本的な考え方である「メンタルヘルス不調の未然防止」、「高ストレスの早期発見・医師の面接指導へ」、「集団ごとに集計・分析から職場改善につなげる」等、一次予防を強化することの必要性を説明して頂きました。

ストレスチェック制度を生かすには、メンタルヘルス対

策の一環として取り組むことが重要であると学ぶことができました。

各事業所に於かれましても、ストレスチェック制度の導入に積極的に取り組んで頂き、メンタルヘルス不調を未然に防止できる健康管理体制を構築していくことを願います。

(株)ショーワ精工 青木 記



■労働災害発生状況 (労働者死傷病報告件数)

(平成27年8月末現在)

		製造業	建設業	運輸業	陸上・港湾貨物 運送取扱業	その他	計
平 塚 労 働 基 準 監 督 署	平成27年1月～8月 うち死亡災害	54 0	35 0	13 0	28 0	125 0	255 0
	平成26年 うち死亡災害	101 2	63 0	19 0	39 0	211 0	433 2
	平成25年 うち死亡災害	82	49 1	24	57	218	430 1
神 奈 川 労 働 局	平成27年1月～8月 うち死亡災害	548 1	421 8	210 0	511 1	1865 9	3555 19
	平成26年 うち死亡災害	1076 8	857 12	353	892 3	3461 9	6639 32
	平成25年 うち死亡災害	1035 5	871 13	350 2	835 4	3394 20	6485 44



雑感

『猛暑が過ぎて想うこと』

日産車体株式会社 住谷 潤

もともと日本には四季があり季節のうつり変わりを通じて数々の美しい文化が継承されてきた。とは言え、最近ちょっと極端すぎないかなと私だけでなく皆さんも感じていると思います。今年の夏は皆様の事業所におかれましては熱中症対策に頭を悩ましていたことでしょう。去年あれだけ諸対策をしたのに、特に7月末週から3週間ほどはその諸対策を上回る熱波が職場を襲い、安全衛生管理部署としては熱中症発症者が出ないか、外の気温に反してヒヤヒヤしたものでした。

熱中症を避けるために従業員には、「こまめな水分補強」「塩分補給」「十分な睡眠」を奨め、逆に水分と言っても緑茶やコーヒー類は含有カフェインが利尿作用をもつので逆効果。朝ごはんをしっかり摂り、水分は腸から吸収されるから汗をかく2時間前に飲む。スポーツ飲料や麦茶、塩分

やミネラルを含んだ飴などが有効だと説いてまわったものでした。

そこで、おやっ?と思ったことが日本の食事は、味噌汁飲んで、梅干し食べて、麦茶飲んで、休憩でスイカに塩かけて、…。実は季節の食事はその気候を乗り越える必要な成分を含んでいるのだと言うこと。子供のころ、祖母から「季節にはその時期ごとに旬と言われる食材や果物があってその旬の食べ物をとることで健康に生活できるんだよ」という言葉が記憶の中から蘇りました。

さて、こうしてこの原稿を書いている今、朝夕涼しい秋の気配が感じられる時期になってきました。平塚産の甘い梨を食べながら食欲の秋に向けて次の季節に備えた栄養補給を整えている今日この頃です。身体だけは丈夫に産んでくれた親に感謝しながら。みなさまもお身体ご自愛ください。

支部講師紹介

花塚 昌則 氏



現在は日産車体株勤務。10年ほど前から社内の安全スタッフとして主に防火活動をはじめ社内安全衛生教育、保護具等を担当。休日には、地域で小学生のバレーボールのコーチとしても活躍中で、人懐こい笑顔が魅力の講師です。

1. 家族構成

奥さんと犬2匹(小太郎とクマゴロウ)・・・娘3人は結婚して独立

2. 出身地

栃木県大田原市

3. 本人に質問

「講師として心掛けていることを教えてください」

職長教育の講師(5年目)として「安全衛生マネジメントシステムとリスクアセスメント」を担当しています。長い現場生活での体験や事例をできるだけ多く紹介しながら受講者の皆さんに飽きられない工夫をしながら講話しています。

編集後記

◆多くの出来事の節目の年

- ・終戦70周年
- ・JR福知山線脱線事故～20年
- ・日本航空123便墜落事故～30年
- ・阪神大震災～20年

どの出来事も、涙なくしては語れない寒心に堪えない記事が多くあります。

特に「終戦70周年」に関するTV報道等は、目・耳を疑い只々啞然、幾度見ても衝撃的です。

2015年はそんな節目年となりました。

皆様の生活環境の場で安心安全な環境がいつもあり、楽しくうれしい話題が多く取り上げられる職場・家庭環境がある事を願います。

◆高校野球創設100年の夏

(高校野球選手権大会 第97回)

夏の終わり間近の8月20日、“神奈川県民”にとって猛暑を吹き飛ばす嬉しいニュース。

東海大相模高校(神奈川)が決勝戦にて仙台育英高校(宮城)に勝利!

全国3906校の頂点に立ち、深紅の大優勝旗を手にした。

夏の風物詩の一つ高校野球、甲子園は日々熱戦。

(TV前では、冷房準備OK日々となった)

視聴率も20%超え、2020年の東京オリンピック開催前にいち早くスポーツ人気急上昇。

「おっさん」である私(43才)も頑張らなくてはと喝入れ!

(意気込みだけ!)

◆会報が発行される頃は、全国労働衛生週間です。

労働者の健康確保・快適環境職場を目指し、“喝”を入れ頑張ります。
日鍛バルブ(株) 遠藤 記